

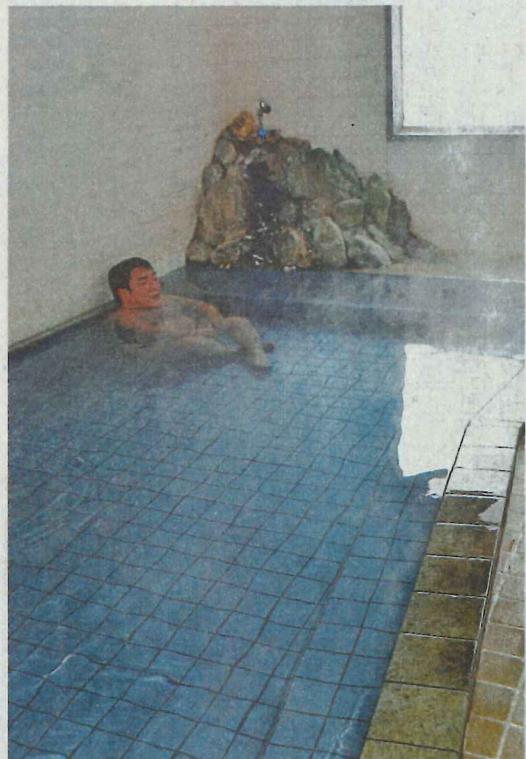
おらほの
湯の郷

▷▷ 1

四十八滝温泉 大館市雪沢



樹海ライン沿いに立つ四十八滝温泉



掛け流しの浴室。湯冷めしにくいと評判だ

冬本番を迎える、県北各地の温泉施設には多くの入浴客が訪れている。不特定多数の利用者でにぎわう施設から、地元に根差した施設までさまざま。寒さが募るこの季節、各地域で独自の輝きを見せる温泉施設を紹介する。

◆ ◆ ◆
大館市中心部から県道「樹海ライン」で東へ約10キロ。長木川沿いの山間部に「四十八滝温泉」の看板が見えてくる。湯冷めしにくいことで知られる雪沢温泉を引き込んでおり、高齢者

を中心に常連客でにぎわっている。施設の正式名称は「市立老人福祉センター」。1969年のオープン当時は県が管理していたが、87年に市へ無償譲渡された。高齢者の健康増進などを目的に掲げている。四十八滝温泉のネーミングは愛称。いつどんな経緯で付いたかは定かでない。

半だ。
客室利用者は午前中に来所し、夕方ごろまでゆっくり過ごすパターンが多い。持ち寄った食事や菓子を入れ

勤め人も多い」と佐藤さん。大館市はもとより、隣接する小坂町から通う常連客も少なくない。「お客様に喜んでもらえればこちらも

うれしい。多くの人に利用してもらいたい」と話している。

(小林智彦)

1
0186・50・203

を中心常連客でにぎわつていて。60歳以上と身体障害者の利用料を優待しているほか、6室ある客室(8畳)

の利用も多い。管理人の佐藤誠さん(69)によると、個室は5、6人ほどのグループ

60歳以上と身体障害者、小学生以下130円。入浴料を含む客室利用料は、午前9時~午後4時が60歳以上と身体障害者、小学生以下が300円、一般500円。午後4~8時が各100円増し。第2、4月曜定休。大館市雪沢字大滝66。

新規開業の「かづの新年祝賀会」(鹿角市、小坂町、かづの商工会主催)が5日、同市花輪の鹿角パークホテルで開かれた=写真。商工、行政関係者ら約400人が出席

湯冷めしにくい源泉

士会会長賞に選ばれた大館曲げわっぱの白木飯器



動物の足跡を観察する児童ら

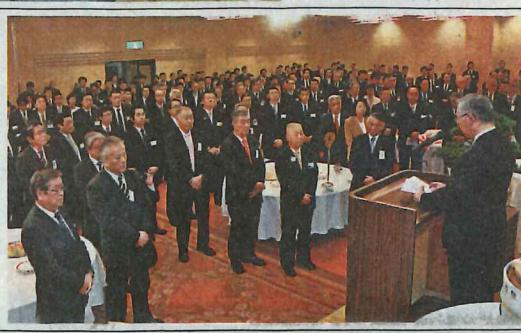
日の9日は同体験センターで白神こだま酵母を使ったパン作りに挑戦する。(青柳洋祐)

メモ

午前6時~午後8時。60歳以上と身体障害者150円、一般230円、小学生以下130円。入浴料を含む客室利用料は、午前9時~午後4時が60歳以上と身体障害者、小学生以下が300円、一般500円。午後4~8時が各100円増し。第2、4月曜定休。大館市雪沢字大滝66。



し、飛躍を誓い合った。主催者のあいさつで商工会の柳沢隆次会長は「酉年は福を取り込み、家内安泰、商売繁盛の象徴として縁起の良い年となることを祈っています。



かづの新年祝賀会
「希望に満ちた年に」
400人、飛躍誓い合う

新春恒例の「かづの新年祝賀会」(鹿角市、小坂町、かづの商工会主催)が5日、同市花輪の鹿角パークホテルで開かれた=写真。商工、行政関係者ら約400人が出席

新規開業の「かづの新年祝賀会」(鹿角市、小坂町、かづの商工会主催)が5日、同市花輪の鹿角パークホテルで開かれた=写真。商工、行政関係者ら約400人が出席

る」と述べた。鏡開きの後、乾杯。テーブル始のあいさつを深めた。

第56回花輪地区子ども会対抗かるた大会が7日、鹿角市花輪の市文化の杜交流館コモセで開かれた。10町内から各町内の保育

19チームが出場かるたで真剣勝たた。各町内の保育